

# ウオダス 漁海況速報 No. 1712



発行日 平成 22 年 9 月 21 日 <http://www.aomori-itc.or.jp>

発行 (地独) 青森県産業技術センター水産総合研究所

TEL:017-755-2155 FAX:017-755-2156

住所 〒039-3381 青森県東津軽郡平内町大字茂浦字月泊 10

9月のウオダス発行予定

日	月	火	水	木	金	土
			①	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	⑬	14	15	16	17	18
19	20	⑳	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

- ◎ 沖合定線観測結果(日本海)
- ◎ 平成 22 年度ヒラメ稚魚分布密度調査結果(太平洋)
- ◎ 平成 22 年度第 2 回太平洋スルメイカ長期漁況予報

<b>小 泊</b>	(9月11~15日)
スルメイカ 釣り	9隻 1,650.0kg
クロマグロ 延縄	20隻 1,714.0kg
ウスメバル 釣り	31隻 1,335.0kg

<b>下 前</b>	(9月11~20日)
スルメイカ 釣り	8隻 2,025.0kg
クロマグロ 延縄	24隻 1,751.0kg
ウスメバル 釣り	17隻 517.6kg

<b>鱈ヶ沢</b>	(9月11~20日)
スルメイカ 底曳網	7隻 455.0kg
ヤリイカ 底曳網	1隻 19.6kg
マダイ 釣り	6隻 72.6kg
(465.6kg) 底曳網	6隻 393.0kg
クロマグロ 釣り	12隻 455.0kg
ウスメバル 釣り	1隻 1.4kg

<b>深 浦</b>	(9月11~20日)
スルメイカ 底曳網	18隻 1,740.0kg
ヤリイカ 底曳網	17隻 389.8kg
マダイ 定置網	12隻 69.5kg
(653.8kg) 底曳網	12隻 583.4kg
刺網	2隻 0.9kg
クロマグロ 定置網	1隻 18.0kg
ブリ 定置網	15隻 2,494.6kg
(2,495.0kg) 刺網	1隻 0.4kg
ウスメバル 釣り	21隻 345.3kg
マダラ 底曳網	1隻 27.8kg

<b>三 厩</b>	(9月11~20日)
スルメイカ 釣り	2隻 875.0kg
クロマグロ 釣り	84隻 4,895.0kg
(4,925.0kg) 延縄	1隻 30.0kg
ウスメバル 釣り	2隻 95.0kg

<b>沢 辺</b> (新深浦)	(9月11~20日)
マダイ 刺網	3隻 1.6kg

<b>大 戸 瀬</b> (新深浦)	(9月11~20日)
ヤリイカ 定置網	2隻 0.5kg
マダイ 釣り	5隻 14.6kg
(28.7kg) 定置網	13隻 11.9kg
刺網	2隻 2.2kg
クロマグロ 延縄	4隻 100.6kg
ブリ 釣り	7隻 95.8kg
(383.8kg) 定置網	23隻 288.0kg
サバ類 定置網	1隻 20.0kg

<b>平 館</b> (外ヶ浜)	(9月11~20日)
定置網	7隻
マダイ	172.5kg
ブリ	47.0kg

<b>佐 井</b>	(9月11~20日)
マダイ 釣り	85隻 411.3kg
(436.3kg) 延縄	3隻 16.6kg
底建網	3隻 8.4kg
ブリ 底建網	1隻 665.7kg
ウスメバル 釣り	2隻 11.9kg
サケ 底建網	1隻 3.6kg

<b>大 畑</b>	(9月11~20日)
スルメイカ 釣り	199隻 29,360.0kg
クロマグロ 延縄	18隻 1,719.6kg
ブリ 定置網	2隻 11.6kg
ウスメバル 釣り	2隻 5.0kg
サケ 定置網	1隻 2.4kg

<b>白 糠</b>	(9月11~20日)
スルメイカ 釣り	97隻 10,455.0kg
マダイ 定置網	10隻 0.6kg
ブリ 釣り	23隻 224.0kg
(235.3kg) 定置網	10隻 11.3kg
ウスメバル 釣り	17隻 12.6kg
マダラ 釣り	32隻 79.6kg
サケ 定置網	10隻 8.6kg

<b>尻 労</b>	(9月11~20日)
ブリ 釣り	41隻 1,484.0kg
(2,304.0kg) 定置網	2隻 820.0kg

<b>三 沢</b>	(9月11~20日)
スルメイカ 釣り	250隻 86,375.0kg
ブリ 定置網	2隻 17.7kg
ウスメバル 釣り	2隻 25.0kg
マダラ 釣り	2隻 60.0kg
サバ類 定置網	2隻 649.7kg
サケ 定置網	2隻 50.2kg

<b>八 戸</b>	(9月11~20日)
スルメイカ 釣り	445隻 236,133.0kg
(283,913.0kg) まき網	不明 47,780.0kg
サバ類 まき網	32隻 4,122,992.0kg
サクラマス他 定置網	29隻 10,101.9kg



## ◎ 平成 22 年度第 2 回太平洋スルメイカ長期漁況予報

— 独立行政法人水産総合研究センター北海道区水産研究所がとりまとめた結果 —  
今後の見通し (2010 年 10 月~12 月)

1. 道東太平洋周辺海域 (いか釣り、底曳網)
  - (1) 来遊量 : 前年並み。
  - (2) 漁期・漁場 : 10 月まで漁場が形成される。
  - (3) 魚体の大きさ : 前年並み。
2. 根室海峡~オホーツク海 (いか釣り、定置網)
  - (1) 来遊量 : 前年を上回る。
  - (2) 漁期・漁場 : 10 月~11 月が漁期の中心となる。
  - (3) 魚体の大きさ : 前年並み。
3. 常磐~三陸周辺海域 (いか釣り、底曳網、定置網、まき網)
  - (1) 来遊量 : 前年を下回る。
  - (2) 漁期・漁場 : 予報期間を通じて漁場となる。
  - (3) 魚体の大きさ : 予報期間の前半は前年より小さく、後半は前年並み。
4. 津軽海峡~道南太平洋周辺海域 (いか釣り、定置網)
  - (1) 来遊量 : 前年並み。
  - (2) 漁期・漁場 : 10 月~11 月が漁期の中心となる。
  - (3) 魚体の大きさ : 予報期間の前半は前年より小さく、後半は前年並み。

※平成 22 年 9 月 17 日水産庁・(独)水産総合研究センタープレスリリース

## 沿岸各地の水温

( 9 月 16 ~ 20 日 )

日本海 23 ~ 25 °C 台 津軽海峡 22 ~ 25 °C 台  
 陸奥湾 24 ~ 25 °C 台 太平洋 22 ~ 23 °C 台

今回は鱒ヶ沢、蛇浦、関根浜と平館ブイを除いた全ての地点で水温低下がみられ、平均前回差は-0.3 度となりました。

前年と比べると日本海側、津軽海峡側、陸奥湾内及び太平洋側ではなはだ高めとなり、平均前年差は+3.4 度となっています。

平年と比べると日本海側で平年並み、津軽海峡側、陸奥湾内及び太平洋側ではなはだ高めとなり、平均前年差は+2.5 度と高めの傾向が続いています。

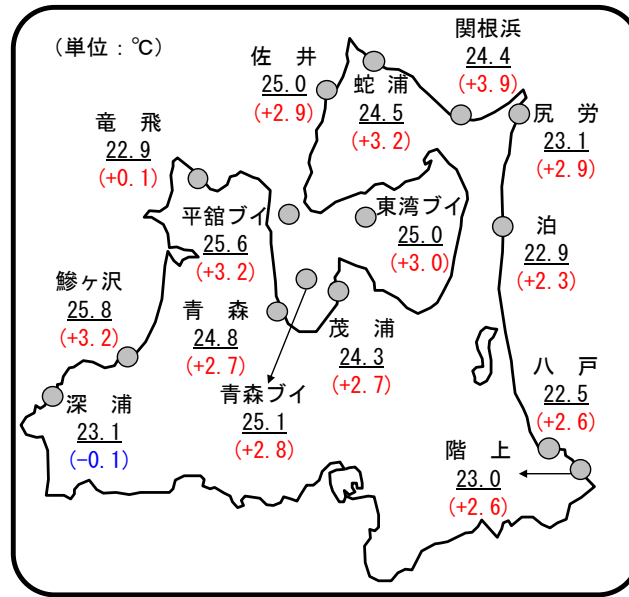


図 定地水温 (9月16~20日) 平均值 (平年差) ブイ 1m

表 沿岸各地の水温 (9月16~20日) (単位: °C)

		水温	前回差	前年差	平年差
日本海	深浦	23.1	-0.3	+0.3	-0.1
	鱒ヶ沢	25.8	+0.2	+4.0	+3.2
	平均	24.4	-0.1	+2.1	+1.6
津軽海峡	竜飛	22.9	-0.6	+1.6	+0.1
	佐井	25.0	-0.1	+4.3	+2.9
	蛇浦	24.5	+0.2	+4.0	+3.2
	関根浜	24.4	+0.0	+4.5	+3.9
	平均	24.2	-0.1	+3.6	+2.5
陸奥湾	青森	24.8	-0.5	+3.9	+2.7
	茂浦	24.3	-0.2	+3.8	+2.7
	平館ブイ	25.6	+0.1	+4.5	+3.2
	青森ブイ	25.1	-0.8	+4.6	+2.8
	東湾ブイ	25.0	-0.7	+4.1	+3.0
太平洋	平均	24.9	-0.4	+4.2	+2.9
	尻労	23.1	0.0	+3.5	+2.9
	泊	22.9	-0.5	+3.1	+2.3
	八戸	22.5	-0.8	+3.0	+2.6
	階上	23.0	-0.8	+3.5	+2.6
平均	22.9	-0.5	+3.3	+2.6	
全体平均	24.1	-0.3	+3.4	+2.5	

※平成21年4月から鱒ヶ沢の観測位置が変わりました。  
 ※平均の前年差には鱒ヶ沢は含まれません。

## 太平洋の海況 (9月16日~19日、表面水温分布)

概況: 沿岸水温は23度台

○太平洋沿岸域の表面水温

前回と比べて1度ほど降温しています。前年同期と比較すると3~4度も高い水温です。

## 日本海の海況 (9月16日~19日、表面水温分布)

概況: 沿岸水温は26度台

○日本海沿岸域の表面水温

前回と比較して1度ほど降温しています。これは前年同期と比較して5度も高い水温です。

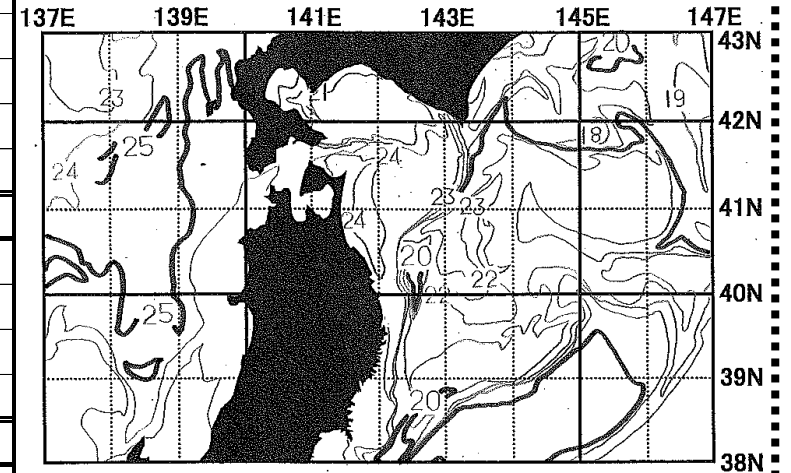


図 水温分布図 (平成22年9月16日~9月19日)

資料: (社) 漁業情報サービスセンター

北部太平洋海況速報(A) 第50号 9月20日発行

◎試験船開運丸は9月10~17日、日本海において9月分の沖合定線観測を行いました。その結果は下表のとおりで、対馬暖流域の表面の最高水温はかなり高め、50m層及び100m層水温ははなはだ高め、暖流の流幅は十三沖でやや広め、北上流量もかなり多めとなっていました。

対馬暖流流勢指標9月

9月10~17日: 開運丸

観測項目	2006	2007	2008	2009	2010	平年差	平年比
各層最高水温(°C)	0m	26.1	24.7	24.9	24.2	26.9	+1.55 +137
	50m	19.75	21.25	18.15	19.58	25.27	+4.89 +214
	100m	15.22	14.7	11.7	14.03	17.51	+3.71 +209
流幅 (マイル)	船作線	65.1	60.3	56.0	43.6	50.9	+8.8 +59
	十三線	64.2	75.4	76.5	61.1	69.1	+14.1 +91
水塊深度(m)	207	190	219	189	210	+10 +36	
北上流量(Sv. (10 <sup>6</sup> m <sup>3</sup> /s))	3.02	2.12	2.80	3.37	4.21	+1.20 +163	

## ◎平成22年度ヒラメ稚魚分布密度調査結果 (太平洋)

当研究所では天然ヒラメの稚魚分布密度調査を平成11年から行っており、今年度は8月3日、8月17日、8月31日に桁網(水工研II型)を用いて太平洋の三沢市沖8点で行いました(図1)。ヒラメの分布密度は桁網効率を0.28とすると0~25尾/1,000m<sup>2</sup>の範囲にありました(表1)。

水深別平均分布密度の最高値を着底指数とすると、今年度は14と低い水準になりました(図2)。これまでの調査結果を見ると、太平洋南部では着底指数が高かった年の翌年に1歳魚の漁獲尾数が増える傾向があることから、来年の漁獲はあまり期待が持てません。

担当: 資源管理部 吉田雅範

太平洋 表1 ヒラメ稚魚分布密度 (尾/1,000m<sup>2</sup>)

調査月日/調査点	水深 5m				水深 10m			
	四川目	湊代	六川目	塩釜	四川目	湊代	六川目	塩釜
8月3日	0	2	2	2	3	0	0	0
8月17日	25	6	6	2	24	0	0	2
8月31日	16	11	14	17	9	4	0	5

